

2025年3月6日

## 多国籍企業学会\_第1回 東西若手会員・研究交流フォーラム報告

本部事務局 鈴木仁里

2025年2月28日(金)～3月1日(土)の2日間、当学会の東部・西部部会に所属する若手会員を対象に、幅広い知識と指導経験豊かなアドバイザーや同じ境遇・志を持つ会員との研究やキャリア形成などについての議論や交流を目的とする短期集中型の研究合宿を実施した。フォーラムの概要と成果について以下に記す。

### **【1日目：研究報告セッション】**

セッションの始めに、アドバイザー(古沢会長、井口副会長、荒井理事)の紹介と、参加者の自己紹介の時間が設けられ、和やかな雰囲気の中でセッションが開始された。

本フォーラムには、8名の会員(大学院院生5名、助教2名、専任講師1名)が参加し、1日目は2グループ(Aグループ4名・Bグループ4名)に分かれて、各グループを担当するアドバイザーが司会進行、およびコメンテーターを務め、各々の研究概要と課題が報告され、それについての質疑応答や参加者同士の議論が展開された。その後、古沢会長より、「多国籍企業研究の進め方について考えるー私の経験を踏まえてー」というタイトルでレクチャーがあり、研究の進め方や留意点、取り組み姿勢などについてのご指導と、参加者各々の課題解決・研究能力向上に向けた助言がなされた。

### **【1日目：交流セッション】**

夕食後に実施した、アドバイザー、および参加者との車座討議によって、活動拠点や研究分野の垣根を超えたコミュニケーションが促進され、より関係性が深められた。ここでは、本学会のこれまでの歴史や独自性、そして、学会への積極的な参加がもたらす様々なメリット、アドバイザー教員のこれまでの経験を踏まえた助言など、参加者の関心事の高い多岐に渡るテーマの下に、自由でアットホームな雰囲気です討議が進んだ。研究報告セッションでの議論の続きが当セッションで展開される場面も多々あった。

### **【2日目：目標設定セッション】**

当セッションでは、まず個々に1日目の研究報告セッション、交流セッションを振り返り、そこで得られた気づきや学びを今後の自身の研究、キャリア形成活動にどのように活かしていくのか、について問いの解となる自身の具体的な活動計画を検討した後、全体への活動計画の共有の時間が設けられた。議論や助言、レクチャーの内容を踏まえて、習得した知見を計画に反映させている部分が随所に見られた。最後にアドバイザー教員より、「今回得

られたご縁を大切に頂く事、臆病にならずまずは動き出す事、悩みや困ったことがあれば遠慮なく相談してほしい事、学会が提供する様々な成長の機会を積極的に活用する事などの重要性」が強調され、閉会となった。

フォーラムの最後に、今後に向けたアンケートを実施したところ、以下のような回答を得た。

#### <フォーラムの満足度について>

フォーラム（研究報告セッション・交流セッション・目標セッション）に関しては、個別のセッション、そしてフォーラム全体に対しての満足度を問う質問項目では、参加者全員が全てのセッションにおいて「とても満足している」との高い評価であった。

#### <本フォーラムへ参加する前のモチベーションについて>

フォーラムに参加する動機については、「現状の研究活動の停滞を打開するための助言や刺激・活力を得たい」「入会して間もないため、ともに励み、刺激を与えあう仲間を見つきたい」などの研究活動の進捗やネットワークの構築のため、という回答が多数であった。

#### <参加前と参加後の変化の有無について>

参加前と参加後ではモチベーションの側面、研究の質的な側面において「プラスの変化があった」という回答が多数であった。モチベーションの側面においては、「熱心に取り組む他の参加者の存在に大きな刺激を得た」「研究の修正点や今後取り組むべき活動が明確になり、研究意欲が高まった」「キャリアでの悩みに対するフィードバックを頂き、自信を取り戻す事ができた」などの回答があった。研究の質的な側面においては、「レクチャーを通して研究計画や文献レビューのアプローチの見直しの機会を得る事ができた」「アドバイザーによる助言により、再考すべきポイントや確認すべき情報ソースが明確になった」などの回答があった。

#### <本フォーラムで得られたことを今後どのように活かしていきたいかについて>

「研究の基本的な作法（先行研究レビューや研究計画書の構成、適切な実証分析方法の選定など）に沿った活動を徹底していきたい」「フィードバックで得た改善点の修正を試み、部会・全国大会での報告や学会誌への論文投稿に繋げたい」など、具体的な研究活動や学会に関連する活動目標の記述が顕著に見られた。

#### <本フォーラムの今後の改善点について>

以下のような、今回のフォーラムに満足し、評価している事を前提とした回答が得られた。「とくには無いが、今回のようにアクセスしやすい会場であるとありがたい」「参加者間同士のさらなるコミュニケーションの場や機会を設けて欲しい」「第1回目なので事前情報が

少なかったが、今後、今回の本フォーラムの内容や価値が事前に会員に伝わる事で、さらなるイメージの向上や集客が可能になるのではないか」

最後に、本フォーラムの企画立案、実行に際し、ご支援ご協力頂いた全ての皆様に感謝を申し上げます。特に、参加者一人一人の課題や悩みに大変丁寧にご対応頂き、進むべき方向性や多様な選択肢を示して下さい、アドバイザーの古沢先生、井口先生、荒井先生には心より御礼申し上げます。今回の経験や評価の内容を踏まえ、今後の活動について検討し、活かしていきたい。

《活動の様子》



※会議室



※研究報告セッション



※研究報告セッション



※古沢先生によるレクチャー



※目標設定セッション



※目標設定セッション



※井口先生によるコメント



※荒井先生によるコメント



※全体での振り返り



※会場前にて



※会場前にて